

日本専門看護師協議会 高額療養費制度の自己負担上限額引き上げに関する緊急声明

現在、国会審議中の高額療養費制度の自己負担上限額引き上げは、重い病気があり、高額の治療を受けながら生活する人びとの経済的な負担を増大し、ひいては治療の継続、家族への負担、その後の人生にも重大な影響をおよぼすものとして大変憂慮いたします。

日本専門看護師協議会は、複雑で解決困難な看護問題を持つ患者や家族に対し卓越した高度な看護実践を提供し、人びとの健康の維持増進のために活動している立場として、以下のとおり緊急声明を発出します。

公的保険制度の維持のために医療費制度の見直しが必要であることは理解しております。しかし、このたび政府が提案する高額療養費制度の自己負担上限額は引き上げ幅が大きく、重い病気がある患者とその家族にとって過度な負担が生じ、治療の継続と生活の質に大きく影響するだけでなく、その人の生きる希望までも奪う可能性があることを大変危惧しております。

以上のことから、今回の高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げについて、政策決定のプロセスにおいて、重い病気を抱えた患者やその家族、専門家との対話を大切にしたい議論を十分に重ねていただくことを強く望みます。

日本専門看護師協議会では、今後も患者さんが安心して治療を受けられる医療環境の向上と公平な医療アクセスの実現、さらには治療とともにより良い生活が維持できるための高度な看護実践が提供できるように尽力してまいります。

2025年3月4日

一般社団法人 日本専門看護師協議会
代表理事 市原 真穂